

令和4年度

渚滑地区学校運営協議会だより

紋別市立渚滑小学校

紋別市立渚滑中学校

11月22日No2

10月25日（火）、委員会より指導主事の濱哲哉様と学校運営委員会コーディネーターの名達和俊様をお招きし、第2回渚滑地区学校運営協議会が開かれました。その概要についてお知らせします。

1、議事

- (1) 第1回渚滑地区学校運営協議会会議録確認 (2) 支援・参画に関する協議
(3) 渚滑地区学校運営協議会委員の役割について (4) その他

2、協議の内容

- (1) 第1回渚滑地区学校運営協議会会議録確認

第1回渚滑地区学校運営協議会会議録の一部修正と承認を確認

- (2) 支援・参画に関する協議

①小学校の中間評価について〔渚滑小学校 佐藤校長より〕

ア、保護者・児童の評価は非常に高い。学校のことをよく見ていただいて好意的な評価をいただいている。

イ、教員の評価が低いのは、もっと子どもたちにできることがあるという意識の表れと押さえている。

ウ、避けたいのは教職員の評価が高いのに、児童・保護者の評価が低いということ。

②中学校の中間評価について〔渚滑中学校 塩満校長より〕

ア、重点目標が達成できていない。教師の評価が高いのは教師自身は一生懸命に取り組んでいることの表れと捉えている。

イ、学習面は高い評価。個に応じた授業づくりを今後も続けていきたい。

ウ、生活面は対教員とのコミュニケーションも高い評価をいただいている。

エ、保護者の相談などに先生方は一生懸命に取り組んでいる。今後も継続していきたい。

③学校安全総合支援事業について〔委員会 濱指導主事より〕

事前に児童生徒が書いたアンケート結果をもとに町内の地図を作成し、交通安全上危険な場所をワークショップ形式で確認しました。また、その対応策として「既にやっていること」「今後できそうなこと」「その他」に分類しながら熟議を行いました。

〔意見交流の中で出された意見〕

- ・児童館入り口付近が暗くて危ない。 ・バラの垣根があり歩行者が危ない。
- ・道路のあちこちに凹凸があり水がたまる。凍結すると危ない。
- ・一目でスクールバスとわかる色やマークにしてほしい。 (他多数)

(3) 渚滑地区学校運営協議会委員の役割について

当日ご参加いただいた方々より学校運営協議会の目的と存在意義について貴重なご意見をいただきましたのでご紹介します。

学校・PTA・地域の3者を1つにして問題点を共有することが大切であり、地域を入れることによって学校運営をやっていくことが大事。みんなで意見を聞いて問題点を共有することが大事である。学校行事に地域として呼ばれて行く私は、子供がちゃんとやっているか、協力してやっているか、学校の教育をちゃんとやっているか、先生たちが協力して学校行事を運営しているか、を見ている。教育運営方針を共通認識して、その上で見に行く。一緒に進めていかなければならない。

学校・保護者・地域が「みんなで一緒に」がキーワード。いろんな視点の違いが1つの大きな輪になって今日の熟議の結果になっている。「学校が開く」「地域も開く」「保護者も開く」3者が同じ円の中で、それぞれの立場から意見を発信するというのが望ましいと思う。学校だけにお任せをするのではない、保護者だけにお任せをするのではない、地域も一緒になってこの学校を作っていくことが核心である。

学校は学校内のことを外に出したがる傾向がある。隠さないで遠慮しないで何でも言ってほしい。私たちは学校の応援団である。

CSは学校の応援団であるとともに辛口の友人でなければならない。辛口を言う場面がないので、このような場で率直に述べていただかないと本来の趣旨とずれていく。

(一部抜粋)